



▲災害発生時の対応手順について、熱心に説明を聞いていました

## 災害救援の活動拠点に

石越で災害ボランティアセンター設置訓練

東日本大震災では、災害現場で必要としている情報がボランティアに十分に伝わらず、効率的な活動ができなかったといわれています。そのことを教訓に、災害発生時に救援ボランティアの活動拠点を担うための災害ボランティアセンター設置訓練が9月5日、石越体育センターで実施されました。訓練当日は、地区の自主防災組織から行政区長や婦人会など約100人が参加。災害発生時を意識しながら現場のニーズの把握やボランティアとの調整、対応手順などを確認していました。

## 御神輿で復興を祈願

石ノ森章太郎ふるさと記念館夏祭り

石ノ森章太郎ふるさと記念館夏祭りが8月25日、同館駐車場で開催されました。この祭りはコミュニティ組織をはじめとする地域団体と来館者とのふれあいや交流を目的として毎年開催されているものです。今年も仮面ライダーよさこいバージョンフェスティバルや復興祈願「御神輿」の練り歩きなどが行われ、多くの見物客でにぎわいました。祭りの締めくくりとして、恒例のお楽しみ抽選会が行われ、豪華な賞品が当たるたびに会場からは大きな歓声が上がっていました。



▲地元の若者たちによる復興神輿が町内を練り歩きました

## 地域の頼れるリーダーとして

南方で災害ボランティア研修会

災害発生時に自主防災組織の中心的役割を担う行政区長や民生委員を対象とした災害ボランティア研修会が9月13日、南方公民館を会場に開催されました。栗原市社会福祉協議会の佐藤一繁さんが「災害時における地域リーダーとしての役割」と題し講演。その後、四つのグループに分かれて講師が用意したマップをもとに「バーチャルマップ体験」をしました。災害発生時の避難経路の決定や住民の安否確認など、今後の災害マップづくりに役立てようと熱心な議論が交わされていました。



▲バーチャルマップ体験により、災害時の対応を学ぶ参加者



▲秋晴れの下、参加者は心地よい汗を流していました

## 優勝をめざして一致団結

豊里地区市民大運動会

豊里地区市民大運動会が9月2日、豊里運動公園で開催されました。競技は、愛くるしい園児のかけっこに始まり、各地区の力自慢による綱引き、地区対抗リレーなど11種目。今年は、東日本大震災を教訓に、防災用品を描いたカードを選んでリレーする「備えて安心」という競技も取り入れられました。応援の地区テントからは、各種目に大きな声援と拍手が送られていました。白熱した競技の結果、総合優勝は竹花町内会。準優勝は下町町内会、第3位は庚申町内会でした。

## 人形を使って楽しく学ぼう

津山でぼんぼこ広場「交通安全教室」

津山子育て支援事業「ぼんぼこ広場」による交通安全教室が9月12日、津山子育て支援センターで開催されました。津山地区交通安全指導隊が人形劇で、道路の横断方法や飛び出しの危険について説明。人形劇は、ユーモアのあるセリフや歌を一緒に歌う場面など指導隊のアイデアが詰まった内容となっており、参加した親子は楽しく交通ルールを学んでいました。最後に子供たちから指導隊へのお礼として、折り紙で作った花束が渡され、楽しい教室となりました。



▲人形劇でわかりやすく交通安全を説明する交通安全指導隊

## 未来の横綱を目指して

米山で少年相撲大会を開催

道の駅米山の特設相撲場で8月26日、第6回丸山杯少年相撲大会が開催されました。この大会は、米山町出身の第3代横綱丸山権太左衛門の顕彰と相撲の普及・発展を目的として行われているものです。今年は県内から小学生13チーム、中学生2チームが参加。小学校の部は予選を勝ち抜いた低・中・高学年ごとの決勝トーナメント戦、中学の部は総当たり戦で決勝戦が行われました。参加した選手は日頃の練習の成果を出そうと、土俵の上でカー杯の相撲を繰り広げ、観客からは大きな声援が飛び交っていました。



▲大人顔負けの力強い取組が繰り広げられました